

上山口小だより

教育目標 **かしこく・なかよく・たくましく**

平成 29 (2017)年 1月 27日

12号

葉山町立上山口小学校

編集発行 中根正彦

TEL 046-878-7529

寒さが最も厳しいときですが、日差しは少しずつ温かみを増している様に感じられ、それに合わせて梅の花が諸所で咲き、甘い香りを漂わせています。

本学期も、どうぞよろしくお願いいたします。

6年生は卒業に向けて、その他の学年は進級に向けて、最後のまとめの学期となります。児童には、期間は短いですが、充実した時を過ごしてほしいと思っています。



「学校はたのしいよ！」～幼稚園・保育園との交流～

1月19日(木)、「■■■■幼稚園」・「■■■■御国幼稚園」・「■■■■保育園」の3つの園から、総勢110名を超える子どもたちが、上山口小学校に集まりました。「■■■■幼稚園」とは毎年行っている交流会でしたが、今年は「■■■■」と「■■■■」に声をかけさせていただき、この様な盛大な会となりました。

1・2年生合わせて53名の児童が、その倍以上の園児たちを迎えました。その名も「学校はたのしいよ！」です。12月から、実行委員を設けて準備をしたり練習をしたりして本番に臨みました。たくさんの園児達ですから、班に分かれてもらい、4つのコーナーを設けてそれぞれおもてなしをしました。その4つのコーナーとは…。

(1) 1ねんたいけんコーナー

園児たちに一足早く1年生の生活を体験してもらいました。1・2年生が呼名をすると園児たちが「はい」と手を挙げるお返事の体験。中身がいっぱい入ったランドセルを実際に背負ってみる、ランドセル体験。工夫を凝らした活動で、おもてなしをしました。園児にランドセルを背負わせてあげている1・2年生の頼もしいこと…。つい昨年まで、かばんに背負われている様だった児童たちの成長が嬉しい限りです。



(2) よみきかせコーナー



図書室に集まった園児たちに1・2年生が本の読み聞かせをして、その本の内容についてクイズを出すコーナーです。何度も練習する姿を見ていたので、本当によくがんばったと思っています。本を読む係、絵本を広げて見せる係、クイズを出す係と、それぞれが分担したり交代したりして園児達と交流しました。

余った時間は、本読みタイムを設けたり、学校生活質問コーナーを設けたりしました。

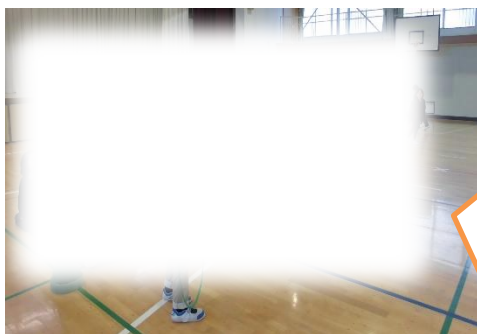
(3) てあそびコーナー■■■■



視聴覚室には、手遊びコーナーが設けられました。「おちたおちた」、「きゃべつのなかから」、「グー・チョキ・パー」など、1・2年生の児童が楽しい手遊びを紹介し、園児と一緒に遊んで過ごしました。

「にこにこして、喜んでくれて嬉しかった。」と、感想が出るくらい喜んでくれたそうです。これも、笑顔で手遊びを紹介できる様に、一生懸命に練習した成果です。

(4) たいいくかんあそびコーナー



体育館で用具を使ったリレーを楽しんでいるところ。

体育館は、「フラフープリレー」などで遊びました。広い体育館を園児たちが走り回る姿が見られました。

リレーは、別々の幼稚園や保育園の子どもたちが、一緒に組み合わせになるように工夫しました。園児同士の交流も考えてのことです。



1・2年生は、どんなことをすれば喜んでくれるのか、どんな言葉かけをすればいいのかを、一生懸命考えて練習を重ね、この日を迎えました。

園児達には「小学校への期待」を高める場、小学生にとつ

ては、「思いやりの気持ち」を育む場になったのではないのでしょうか。

また、1年生と2年生にもねらいがありました。1年生は「2年生の言動からあこがれと学びを」、2年生は「1年生の手本として活動する」というものです。来年は今の1年生が、2年生となり、新たに入ってくる1年生をリードしてくれるのではないのでしょうか。今から来年の会が楽しみです。

本校のいじめ防止の対応について



被災地から転校してきた生徒に対する「いじめ」が大きく報道され、いじめに関わる悲しい報道が後を絶ちません。本校では、「いじめ」対応はもちろん、特に**予防**に力を入れて以下の様に対応しております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

本校では子どもの「社会ルールや仲間意識を学ぶ**遊び**」・「違いを認め合い差別をなくす**学び**」・「児童が主体的に考え話し合う**活動**」を重視して、まずいじめが起きない関係づくりに取り組んでいます。同時にいじめが疑われる行為や言動がないか全職員で見守っているところです。

「いじめ」が起きた場合には、子どもが自らの問題として気づき、解決できるように指導・支援していきますが、いじめは、教職員の目の届かない所で発生している場合もあり、常に多数の目による児童の見取りが必要になります。地域で見守る体制づくりにも努めたいと思います。

➡裏につづく

表からつづく➡ 保護者の皆様も、「児童の気になる言動」・「気になる様子」等、お気づきのことがありましたら、まず担任までご相談ください。また相談窓口として、スクールカウンセラー・教育相談コーディネーターもごさいます。

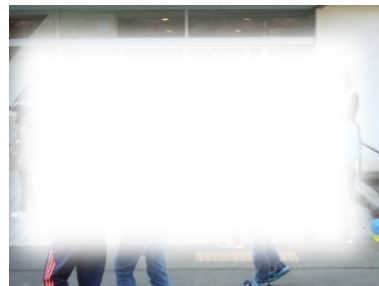
いじめには、担任だけで対応するのではなく、「いじめ防止等対策委員会」が組織として対応します。詳細につきましては「上山口小学校ホームページ」の「学校いじめ防止基本方針」をご覧ください。「葉山町」のHPから入るとすぐに見つかります。

あいさつ運動



1月13日(金)、23日(月)の2日、町の「あいさつ運動」が実施されました。朝早くから、たくさんのPTAの皆さんにご協力いただきました。また、ねこ・くま・うさぎなど動物たちも協力してくれました(中には誰が?)。

「あいさつ運動」は、町長を会長とする「青少年問題協議会」が進めている運動です。「あいさつ標語」募集や表彰もここが行っています。



この会では、特に1月を「あいさつ運動強調月間」として、あいさつの普及啓発に取り組んでいます。私たち大人が率先して子どもたちの前で示さなければならないと思っています。また、保護者の皆さんの声かけがとても大切です。

今後ご協力をお願いいたします。

ユニセフ募金について



募金を呼びかける運営委員。



一人ずつ読んだ本を紹介しているところ。

1月の児童の生活目標は、「自分たちにできることを考えよう」です。

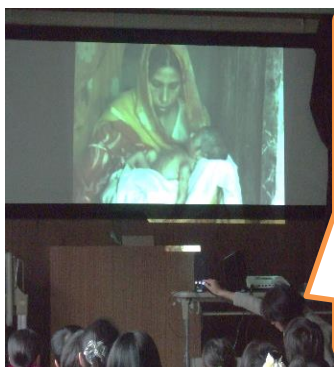
運営委員の子どもたちが、児童朝会でこのことを呼びかけました。運営委員一人ひとりがこの日のために一人一冊ずつの本を読んで来ました。そして、全校児童の前で読んだ本について紹介したり感想を伝えたりしました。またユニセフの活動紹介のビデオも流しました。

その中の一冊を紹介します。「エンザロ村のかまど」(さくまゆみこ文、沢田としき絵)は、ケニアのエンザロ村で、岸田袈裟(きしだ けさ)さんという女性が村の生活改善のために働いているのを紹介した絵本です。水の浄化装置を作ったり、日本のかまどを普及させることにより、村の赤ちゃんの死亡率を劇的に減らすことに成功しました。今では、そのかまどは「エンザロ・ジコ」と呼ばれ、ケニアの他の州や隣の国、ウガンダまで広ま

っているそうです。

その他にも、運営委員の児童が読んだ本を紹介しました。みんなそれぞれ立派に紹介できて、感心させられました。

1月25日(水)～27日(金)の3日間、募金を呼びかけました。



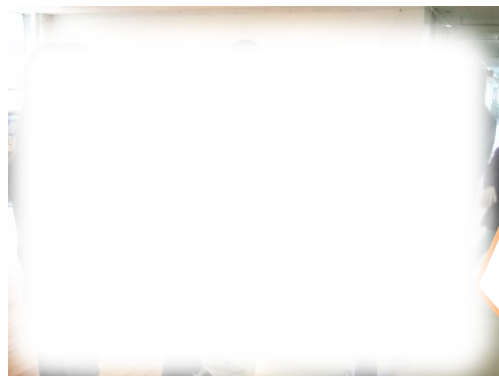
ユニセフの活動紹介ビデオを見る子どもたち。



「校長先生、ぼく〇〇〇〇円募金するんだ。」
「えー。そんなに大丈夫？1円でも10円でもいいんだよ。お家の人は知っている？」

「うん知ってる。ぼくゲームとか(買うのを)やめて(募金)するんだ。」

という子がいました。1円玉と5円玉を大きなボトルいっぱいにとって持ってきた子もいました。金額の多寡でなく、子どもたちがこういう思いを持ってくれたこと、保護者の方々がそれを後押ししてくださっていることを大変ありがたく思っています。



児童の募金活動の様子



児童委員の子が紹介した本の展示。

2月の予定

- 2月 2日(木) 朝会(目標) モンゴル講座(2年)
参観・懇談(1・5年)
- 3日(金) 参観・懇談(3・4年)
- 7日(火) 参観・懇談(2年)
- 8日(水) たてわり活動
- 9日(木) たてわり朝会
参観・懇談(6年)
- 10日(金) 1/2成人式(4年 音楽室)
学級親睦会(4年)
- 14日(火) クラブ(最終)
- 15日(水) 4年野鳥観察
- 16日(木) 朝会(教頭)
- 17日(金) たてわり活動(1～5年 お別れ会準備)
- 21日(火) たてわり昼(準備)
委員会(4年5時間)
- 22日(水) たてわりお別れ会
- 23日(木) 音楽朝会6年
一斉下校訓練
- 27日(月) 安全と命について考える日
- 28日(火) ふたばっこ文庫公演会

